

意見交換の概要

- 開催日：令和元年10月18日（金）14：00～15：30
- 会場：小倉北区役所 東棟8階 811・812会議室
- 参加者：111名

Q. 質問・意見

東アジア文化都市事業は、来年1年間に渡って実施するが、事業が終わった後も長く続く文化が北九州市に根付いていくかが重要である。その点についてどのように考えているか。

A. 市長等の回答

これまでの開催都市とは異なる魅力ある文化が本市にはあり、これらを市民の方々とさらに発見していきながら、世代を超えて共有し、この事業を通じて、「文化というのはいいもの」、「みんなで続けていこう」という流れが生まれてくるのが最高のレガシーであると考えている。

Q. 質問・意見

本市には他都市にはない魅力ある歴史や資源を多く有している。この機会にもっと市民や外国人観光客へ情報発信することが大切ではないかと思う。また、外国人観光客の対応に地元大学生や留学生がサポーターとして参画してほしい。

国が推奨するデザイン思考、デザインシンキングなど取り入れていただきたい。

A. 市長等の回答

東アジア文化都市の取組においては、情報発信はもとより、留学生の参画や地元大学のサポーターとしての活用、デザイン思考の考え方などに関しては、重要であると考えており、今後、活用させていただきたい。